

玉川大学 転・編入学案内

TAMAGAWA
UNIVERSITY 2020

教育学部

教育学科

文学部

国語教育学科

芸術学部

芸術教育学科

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

経営学部

国際経営学科

農学部

生産農学科

環境農学科

先端食農学科

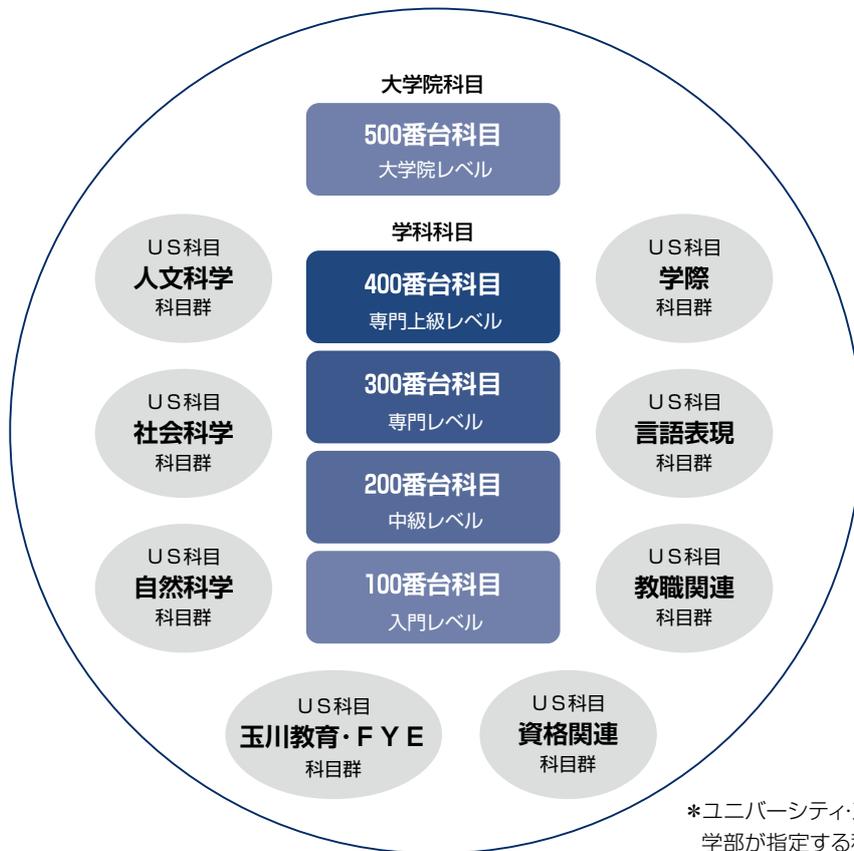
工学部

情報通信工学科

エンジニアリングデザイン学科

玉川大学のカリキュラムと転・編入学

本学のカリキュラムには、建学の理念である「全人教育」を理論的、体験的に学び、かつ幅広い教養を身につけることを目的とした「ユニバーシティ・スタンダード科目」と、各自の将来設計に合わせ必要な専門分野の知識を修得するための「学科科目」があります。各科目は、さらに100番台科目から400番台科目の4つに区分され、学修進度に合わせて順に履修するようになっています。



転・編入学後の履修科目

転・編入学生は本学の建学の理念である「全人教育」の理解のために、ユニバーシティ・スタンダード科目の「玉川の教育」が必修となります。また、転・編入学以前に修得した単位の状況を確認したうえで履修指導を行ないますので、3年次編入の場合でも4セメスターの開設科目の履修が必要となる場合もあります。授業内容はシラバスを公開していますので、以下を参照してください。

<http://unitama.tamagawa.ac.jp/> →「シラバス照会」へ

セメスター制

1年を独立した2つの学期(春学期/秋学期)に分けたセメスター制を採用しています。大学4年間で合計8セメスターの学期を設定し、それぞれの期間ごとに履修すべき科目を設置しています。それらの科目は、指定されたセメスターで履修するもの、あるいは複数のセメスターの範囲内で履修すればよいものに分類されています。自分の興味や進路に合わせて、計画的に履修してください。

卒業単位

卒業に必要な単位は124単位以上です。転・編入学以前に修得し本学で認定された科目の単位と転・編入学後に本学で修得する単位、併せて124単位以上が必要です。

本学独自のカリキュラムのアウトラインをモデル化したのが上の図です。

GPA制度

個々の学修達成度の評価方法として、修得単位数以外に、1単位当たりの学修成果を測るGPA(Grade Point Average)制度を採用。履修した科目の成績(5段階評価)をもとにポイントを算出します。累積GPAが2.00以上であることを卒業要件としています。また、次のセメスターに進む時や資格取得、留学などの際に、判断の基準となる場合もあります。学修に対する意欲的な取り組みが要求されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{修得単位数} \times \text{成績値}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位合計}}$$

[成績値は、S=4.0、A=3.0、B=2.0、C=1.0、F=0]

卒業要件と転・編入学年次について

全学部共通条件です。

1. 卒業要件は、当該学科の所定の卒業要件を充足し、さらに累積GPAが2.00以上であること。在学できる年数は、入学年次により異なります。
2. 転・編入学前に修得した単位の中から70点(100点満点中)相当以上の評価を得ている科目のみ、本学における単位認定の対象とする(修得単位すべてが認定されるとは限らない)。本学の科目として既修得単位の振替認定が可能な認定単位数に基づき、入学後の学年を決定する。詳細は、「入学試験要項」を参照してください。

■ 1~31単位……1年生 ■ 32~61単位……2年生 ■ 上限62単位……3年生

以下は、転・編入学試験の概要です。試験や出願資格等の詳細については、「転・編入学試験要項」で必ず確認してください。

募集する学部・学科・コースおよび人員			2019年度 入学試験結果	
学部・学科		募集人員	志願者数	合格者数
教育学部	教育学科(保健体育専攻は募集しない)	若干名	2	1
文学部	国語教育学科	若干名	0	0
芸術学部	芸術教育学科 美術・工芸コース	若干名	0	0
リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科	今年度の一般募集はありません。	—	—
経営学部	国際経営学科	今年度の一般募集はありません。	—	—
農学部	生産農学科	若干名	1	1
	環境農学科		0	0
	先端食農学科		0	0
工学部	情報通信工学科	若干名	0	0
	エンジニアリングデザイン学科		0	0

上記以外の学部・学科・コースは転・編入学試験を実施しません。

選考方法

出願書類および口述試験の結果を考慮しながら合否を判定します。

出願手続

(1)出願期間

【郵便受付】2019年11月 1日(金)～11月 5日(火) 締切日 消印有効

【窓口受付】2019年11月 6日(水)のみ 11:00～16:00

(2)出願書類

本学指定の出願書類の他、出身学校等の卒業(見込)証明書・成績証明書等が必要となります(詳細は、「入学試験要項」で確認してください)。

試験日

2019年11月30日(土)

合格発表

2019年12月10日(火) 郵送通知(発表日に速達・特定記録郵便で合否通知を発送)

その他

2020年度転・編入学試験では、教育学部乳幼児発達学科、文学部英語教育学科、芸術学部パフォーミング・アーツ学科、メディア・デザイン学科、芸術教育学科音楽コース、経営学部、観光学部、リベラルアーツ学部、農学部生産農学科理科教員養成プログラム、工学部マネジメントサイエンス学科、ソフトウェアサイエンス学科の一般募集はありません。

教育職員免許状・資格等について

※教育職員免許状・資格等の取得を希望する場合は、以下の留意事項を確認すること

【教育学部】

教育職員2種免許状(同一校種・教科免許状)を有している場合は、卒業時に1種免許状(幼稚園、小学校、中学校社会、高等学校公民、1年次または2年次への入学の場合のみ高等学校地理歴史)を取得することが可能であるが、履修条件等によっては転・編入学後の2ヵ年間で取得は難しい場合があるため事前に相談すること。また、教育職員免許状を有していない場合の免許状および諸資格等(学校図書館司書教諭・図書館司書・社会教育主事・学芸員等)の取得は、転・編入学後の学年ならびに認定された教科目の単位数等により異なる。いずれの場合も、卒業時まで取得できなかった場合は、卒業後に科目等履修生により免許状取得の道が開かれる。

【文学部】

3年次に転・編入学した場合2ヵ年間で教育職員免許状、及び資格等を取得することは、カリキュラム上不可能である。卒業後に科目等履修生により免許状取得の道が開かれる。ただし、教育職員2種免許状(同一教科免許状)を有している者の1種免許状(国語)取得に関しては事前に相談すること。

【芸術学部】

3年次に転・編入学した場合、2ヵ年間で教育職員免許状および諸資格等(学芸員等)を取得することは、カリキュラム上不可能である。卒業後に科目等履修生により免許状取得の道が開かれる。ただし、教育職員2種免許状(同一教科免許状)を有している者の1種免許状(美術・工芸)取得に関しては、事前に相談すること。

【農学部】

1.教育職員免許状について

理科教員養成プログラム(生産農学科)は、募集を行わないため、教育職員免許状を取得することは、カリキュラム上不可能である。

2.資格等について

資格取得については、資格の種類により、転・編入学後2ヵ年で取得することは、カリキュラム上困難である。

【工学部】

1.教育職員免許状・資格等について

転・編入学後2ヵ年間で教育職員免許状を取得することは、カリキュラム上不可能である。卒業後に科目等履修生により免許状取得の道が開かれる。ただし、教育職員2種免許状(同一教科免許状)を有している者の1種免許状(数学)取得に関しては事前に相談すること。

2.資格等について

資格取得については、転・編入学後2ヵ年で取得することが不可能、あるいはカリキュラム上困難な場合がある。

転・編入学が可能な学部・学科紹介

教育学部 教育学科

学びの内容と特色

教育学部では、全人教育の理念のもとに、教育・保育現場で活躍できる質の高い教員・保育者を養成するとともに、現代社会において教育関連分野に貢献できる人材養成を目的とし、教育・保育現場で求められる実践的指導力、社会の変化やニーズに対応できる総合的な課題解決能力、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、そして専攻する分野における幅広く深い専門力を備えた、人間性豊かな教員・保育者や社会人を育成することをめざしています。そのために必要とされる、基礎的・専門的学力とともに、人間や社会への理解や愛情、規範意識(モラル)、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ等の諸能力の獲得を図っています。教育学科は、「初等教育専攻」「社会科教育専攻」「保健体育専攻」という3つの学修専攻があります。学生一人ひとりのキャリアプランにあわせ、子どもを深く理解し、主として学校教育に関する専門的知識や技能並びに教職における実践的な指導力を併せ持った教員養成とともに教育関連分野に貢献できる人材養成をめざしています。

将来の進路

教育学部は、前身である文学部教育学科の時代から、優れた教師を輩出し、「教員養成の玉川」として高い評価を受けています。本学出身の教員・保育士数は5,000人以上にのぼり、全国の教育・保育現場で、あるいは教育委員会や校長など教育界のリーダーとして活躍しています。

昨年度、約7割の卒業生は教育、学習支援業に就職しています。その他、児童福祉、出版、健康産業、サービス業などの分野へ進む学生、一般企業では人事・事務・営業などの各部門へ。本学科で学んだ人材は人を対象にするヒューマンサービス関連分野全般でも歓迎されています。

※保健体育専攻は募集しません。

文学部 国語教育学科

学びの内容と特色

国語教育学科は、言語表現コースと国語教員養成コースがあり、さまざまな言語情報を読み解く力、論理的思考や批判的読解力を培うことをとおして国際社会や国語教育の場で活躍する人材を育成します。

専門分野のフィールド

高度な日本語運用をめざす言語表現コースと、確かな教師力を養成する国語教員養成コースの2つを設けています。言語情報を読み、書く、そして論理的に伝える力を養成し、実践的かつ高度な国語力を身につけることで、多方面で活躍する可能性を広げます。

●言語表現コース 言語表現コースでは、論理的思考力、批判的読解力、言語表現力を養う科目が多く、より高度な日本語運用をめざします。

●国語教員養成コース 国語教員養成コースでは、確かな国語力を次世代に伝えられる「教師力」を養成します。

将来の進路

言語表現コース 取得できる資格

図書館司書社会教育主事(任用資格)、学芸員、IB教員、日本語教員
※履修には条件があります。

国語教員養成コース 取得できる教員免許状

中学校教諭一種免許状(国語)、高等学校教諭一種免許状(国語)、小学校教諭二種免許状^{※1}

※1「ダブル免許プログラム」受講により取得可能。受講の際は入学後一定の要件を充足することが必要です。また受講には別途費用がかかります。

学びの内容と特色

本学科は芸術学部の教職課程を集約することで2014年度よりスタートしました。音楽および美術・工芸の中・高1種免許取得をメインに据えています*1。さらに小学校2種免許の取得を、従来の通信教育を利用したプログラムから対面授業の形式による小学校課程特別履修プログラムに変更し、4年間での効果的な免許の取得が可能になりました。

カリキュラムでは、コースごとに理論と実技の教科をバランス良く、かつ教職の知識と実践的経験を早い段階から学ぶことを重視しています。また学芸員の資格を取得するカリキュラムも併設し、学校と美術館など、教育機関と社会施設との連携を図る最新のシステムを学修に取り入れています。

専門分野のフィールド

●美術・工芸コース 実技科目では絵画基礎、彫刻基礎、工芸基礎、デザイン基礎、映像メディア表現基礎、理論科目では美術理論、美術史を基礎科目として学び、2年次以降、各専門分野を選択し、さらに学修を深めていきます*2。また、音楽と美術共通の授業を設置することで、芸術を広範にとらえ、広い視野と柔軟な思考力を養います。3年次以降には、『芸術表現演習』、さらには『芸術教育研究』などの授業をとおり、想像力、応用力、コミュニケーション力、プロデュース力などを理論的、実践的に身につけます。

将来の進路

中学校教員(美術)/ 高等学校教員(美術・工芸)/ 小学校教員/ 学芸員(エデュケーター、キュレーター)/ アートスクール指導者/音楽教室指導者/ 企業や公共施設等のアートマネージャー/ 教材開発業者/ 教育系出版社/ 生涯学習プログラム指導者/ 海外留学・大学院進学 ほか

*1 「音楽コース」について、本年度の募集はありません。

*2 各専門分野については、芸術学部HP「芸術教育学科 学びのポイント」を参照

学びの内容と特色

生命に秘められた潜在能力をバイオサイエンスの視点で探究し、多様な生物がもつ未知なる可能性をマイクロからマクロの総合科学を駆使して追究します。4つの領域を設置し、植物の栽培、遺伝子組換え、微生物と天然物化学、昆虫の機能解析、動物の生理・生化学などの実験・実習をとおり、生物の新機能の開発につながる研究を行います。

専門分野のフィールド

●植物科学領域

園芸植物・作物の栽培技術、新品種の育成、遺伝子組み換えなどに関する研究に取り組みます。

〔主な学問分野〕 園芸学、栽培学、植物生理学、植物分子育種学

●微生物科学領域

微生物、微生物が生産する有用成分、および、農作物の病害防除を研究します。

〔主な学問分野〕 天然物化学、植物病理学、菌類資源学、微生物資源学

●昆虫科学領域

社会性昆虫を中心に昆虫の行動・生態や機能利用、適応と進化の仕組みなどを研究します。

〔主な学問分野〕 動物生化学、水圏生態学、分子細胞生物学、動物生理学

●動物科学領域

哺乳類や水生生物の生態における恒常性の維持機構や行動の生理・生化学的基盤などの研究を行います。

〔主な学問分野〕 細胞生化学、水圏生態学、動物生理学、細胞生理学

※ 生産農学科理科教員養成プログラムは募集しません。

将来の進路

種苗会社、製薬会社、香料会社、食品関係、農業生産法人、JA、農業機械メーカー、市場、公務員、大学院への進学 など

学びの内容と特色

「環境」を中心に据え、「自然・農業・社会」の3つのつながりを理解し、地域性と国際性の多様な視点で問題解決に取り組むことを重視します。本学での授業に加えて、学外農場での実習や海外留学(2年次必修)などの実践的・体験型学修プログラム、3年次以降の専門課程(生態系科学領域または持続的農学領域)での学修を通して、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献できる「グローバル人材」の養成を目指しています。

専門分野のフィールド

●生態系科学領域

野生生物の生態、自然環境や生物への人間の影響、生態系や地球環境のモニタリングや評価について学びます。

〔主な学問分野〕 植物機能生態学、里山生態学、環境動態学、保全生態学、環境リモートセンシング、動物生態学、野生動物管理学

●持続的農学領域

持続的な農業技術、植物資源の保全や新規可能性の探索、農林水産資源や加工品による地域振興、農業関連の国際協力について学びます。

〔主な学問分野〕 持続的農業システム学、保全生物学、植物繁殖学、持続的植物資源学、農学国際協力

将来の進路

農林業、建設・造園業、製造業(食料品、飲料、飼料)、サービス業(情報、観光)、卸売り・小売・販売業、保険・金融業、飲食店、公務員、海外支援事業、大学院進学(本学を含む) など

学びの内容と特色

食品の安全性や機能性、食品の持つ役割について理解を深め、既存の農業を超えた新たな食料生産のしくみや食品加工にかかわる専門的な知識と実践的な能力を修得します。植物工場や陸上養殖など最先端のシステム化された食料生産技術に関する知識や能力を身につけ、また、食品の機能性や安全性、食品の製造・加工に関する知識や能力を習熟できる学修環境の提供を通じて、新しい食料生産、食品加工の分野で活躍できるエキスパートを育てます。

専門分野のフィールド

●システム農学領域

植物工場や陸上養殖など新しい食料生産のしくみを探究し、社会に通用する食料生産システムの最新技術を学びます。

〔主な学問分野〕 植物生理学、生物環境工学、園芸植物学、水産学、養殖学、微生物生態学

●食品科学領域

食べ物のおいしさや健康機能を探求し、食品の安全性や機能性ととも新しい加工技術などについて研究しています。

〔主な学問分野〕 食品科学、食品衛生学、食品製造科学、食品微生物学、食品分析化学、栄養生理化学

将来の進路

食品製造・加工会社、植物工場会社、水産加工会社、農業生産法人、JA、公務員、病院、学校給食会社、食品流通会社 など

学びの内容と特色

グローバルな思考力と活気にあふれた次世代リーダーの育成を目標。

●グローバルビジネスに直結する『実践力』……経営学、会計学、マーケティングなどの経営・ビジネスの基盤となる主要科目を世界標準の英語テキストで学修。さらに経営者や実務家を招いた『経営塾』でグローバルなビジネス活動や世界に向けた発信力を実践的に学ぶ。

●世界を舞台にして活躍するための『英語力』……日本語・英語の両言語をとおして世界標準の経営学を学ぶ学修アプローチ (Dual Language Program) を実施。英語と専門科目の融合型のカリキュラムで、実践的かつ専門的な英語の活用力をさらに磨く。

専門分野のフィールド

学生の将来の目標・適性に合わせた、少人数制の『専門3コース』を選択。

国際会計コース 国際会計・ファイナンスの知識と実践的技術の修得、論理的コミュニケーション能力の強化。BATIC®(国際会計検定)700点到達を目標。

グローバルビジネスコース ビジネスのグローバル化に対応できる英語力、実践力、発信力を強化。TOEIC®L&R700点を目標。

マーケティング戦略コース 数理能力とコミュニケーション力をベースに、グローバル時代のマーケティング・マインドとイノベーション創出力を実践的に強化。TOEIC®L&R700点を目標。

将来の進路

国際会計コース グローバル企業の財務・経営・企画部門。会計専門職(公認会計士・税理士・米国公認会計士)。金融機関・外資系企業。経営者・後継者など。

グローバルビジネスコース グローバル展開を進める日本企業。外資系企業。グローバルな事業展開を志す経営者・後継者など。

マーケティング戦略コース 企業のマーケティング部門。商品・ブランド開発・マーケティング・市場調査・データアナリスト・コンサルタントなどの専門職。起業家。

学びの内容と特色

情報通信工学科は、進歩著しいICT(情報通信技術)を中心に「人と人をつなぐ」次世代の技術を学びます。「ものに埋め込まれたセンサによるつながりIOT(Internet of Things)」の技術をソフトとハードの両面から徹底的に修得するとともに、ロボット・人工知能、ビッグデータ解析、クラウドコンピューティング、自動運転量子レーダなど最先端の情報通信技術を学び、高度情報化社会を支える技術者としての力を身につけます。

専門分野のフィールド

主な専門領域

人工知能・脳科学

組込みプログラミングの経験をおとて知的に動くモノの仕掛けを知り、人工知能の基礎を学ぶとともにその関連知識を修得します。

自動運転技術(量子レーダ)

いかなる天候にも対応できるカメラ機能を実現する量子レーダの基礎を学び、その開発に参加。情報ネットワークについて学修します。

将来の進路

卒業後の進路は、以下を想定しています。

組込みソフトウェア開発者、マイコン技術者、ロボット技術者、システムエンジニア、システムインテグレータ、ネットワークエンジニア(電子・情報通信)、セールスエンジニア、データサイエンティスト、大学院進学、高校(数学・工業)教員など

学びの内容と特色

人文、社会、自然科学を超えた広い学問領域で自分を磨き、興味に応じて段階的に専門性を深めます。「広さと深さ」を同時に追究し、急速な社会の変化に対応できる基礎知識を養い、Plan(構想力)、Practice(実践力)、Promote(推進力)の体験・実践教育により、多方面のコミュニティでリーダーシップをとれる行動力があり、調和のとれた人材を育成します。「世界がわかる、自分がかかわる」それがリベラルアーツ学部です。

専門分野のフィールド

本学科では、各自の目標に応じて「哲学・宗教」「心理学」「社会学」「日本語・日本文学」「日本文学」「国際関係」「STEM」の7メジャーのいずれかを専攻します。学際的研究を推進するために、サブメジャーを選択することもできます。多様な演習科目を受講しつつ、各自が希望する専攻分野の基礎的な研究方法等を学びます。

各自がデザインする学びのためのプロセスは、学内での授業のみに留まらず、学外でのフィールドワーク(調査実習)、インターンシップ(就業体験)、NPO法人等での活動実習など多岐にわたり、「リベラルアーツセミナー(ゼミ)」では卒業までさらに専門的な学修・研究を深めて卒業プロジェクトとしてまとめていくことができます。

将来の進路

社会や企業が求める、「問題解決能力」「課題を設定して職務を遂行できる能力」「コミュニケーション力」を念頭に、コミュニティでリーダーシップのとれる人材育成をめざしています。卒業生は金融・広告・出版・観光・ITなどさまざまな企業への就職、大学院進学など、多彩な分野で活躍しています。

学びの内容と特色

ものづくりに不可欠な設計・製図・実験などの修得だけではなく、デジタル生産技術・工業デザインなどを取り込むことにより、技術者、経営者としてグローバルに活躍できる人材となりうることをめざします。すなわち、20世紀までの大量生産型ものづくり技術に加えて、デジタルファブリケーション技術を取り入れ、メーカー・メーカーでの実験・実習での体験をおとて企画力・マネジメント能力を培い、積極的に技術発信できる、21世紀型ものづくりに不可欠な専門知識を修得します。

専門分野のフィールド

3Dデザイン・3Dマシン領域 「CAD」や「デジタル生産加工」など、ものづくり技術者に必須な学問を身につけ、同時に基礎的な設計・製作技術を修得します。さらにデジタル機器を用いて、独自の設計・製作ができるような思考力と実践力を養い、ものづくり技術者として即戦力となる人材を社会に輩出することを目標にしています。

商品開発・デザイン領域 みんなが使いやすく、安全で環境にもやさしい商品(製品、サービス、環境や情報)づくりや、商品の企画からデザイン・開発・販売まで携われる商品開発・デザインの専門家を育成します。人間生活を支える基盤技術である「人間工学」「ユニバーサルデザイン」やデータを数理的に扱う「データ処理」などを学び、科学的な思考力と企画力、デザイン力を身につけます。

メカロボット・電気自動車(EV)領域 ロボット・メカトロ機器・電気自動車(EV)の開発に携わりたい人、機械設計や製品開発の技術者になりたい人のために、「機械力学」や「設計製図」など、機械工学を中心として、電子情報系の基礎知識も合わせて学びます。ロボットは、メカ、電気、制御、センサーなどの要素からなるシステムで、その機能・性能が動きとして目に見えるため、工学の魅力に触れるには最適なテーマです。また、自動車は従来のエンジンにかわり、様々なエネルギー源の検討が進んでいます。

将来の進路

機械設計技術者、製品開発技術者、商品技術者、商品デザイナー、セールスエンジニア、メカトロニクス技術者、システムエンジニア、生産技術者などが想定されます。各フィールドにおいてより深く修得するため大学院修士課程進学も準備されています。

●出願にあたっての証明書等書類事前送付(必須)

転・編入学希望者は、出願前の下記期間に必ず本学へ必要書類を送付してください。詳細は「入学試験要項」をホームページで確認してください。

事前送付期間：2019年10月10日(木)～10月18日(金)必着

送付先: 玉川大学入試広報部入試課 〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1

電話:042-739-8181(直通)

●大学見学について

玉川大学のキャンパスは、平日の9時から16時までの間、自由に見学できます。入試広報課をおたずねください。

※8月24日～9月1日(夏期休暇)、12月26日～1月5日(冬期休暇)となります。

※校舎内への立入はご遠慮いただいております。

お問い合わせ先

玉川大学入試広報部

TEL.042-739-8155 FAX.042-739-8152

〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1

e-mail:koho@tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp/university/



小田急線「玉川学園前」駅下車

- 新宿より小田急線の快速急行に乗りし、「新百合ヶ丘」で“各停”“準急”に乗り換え。
所要時間 約30分。

- 横浜よりJR横浜線に乗りし、「町田」で小田急線“各停”“準急”に乗り換え。
所要時間 約40分。

- 小田原より小田急線の快速急行に乗りし、「町田」で“各停”“準急”に乗り換え。
所要時間 約60分。

- 羽田空港より京急空港線に乗りし、「京急蒲田」で京急本線に乗り換え「横浜」へ。JR横浜線に乗り換え「町田」で小田急線“各停”“準急”に乗り換え。
所要時間 約90分。

